
夏休み子ども体験講座

～ I 本場の味ピザ作り・II 理科実験教室～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 本場の料理や理科実験を通じて、子供たちに共同作業の楽しさや様々な視野を広げてもらうことを目的として開設した。
- 期 間 平成30年7月24日(火)・25日(水)(25日は2部制・計3回)
- 時 間 午前10時～正午(24日は午後1時まで、計5時間)
- 対象・定員 I ピザ作り：小学3～6年生 20人
II 理科実験教室：①小学1～3年生、②小学4～6年生(各10人)
- 参加者 41人 (ピザ作り21人、理科実験教室①11人、②9人)
- 参加費 調理材料費500円、理科実験材料費①300円②500円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	I ピザ作り 7月24日(火)	・ピザ作り ・フルーツスティック	篠田 イラリア
2	II 理科実験教室 7月25日(水)	①秘密文字～ヨウ素でんぷん反応～ ②生物観察～柳瀬川の微生物～	志木ライフサイエンスコミュニティ 鈴木 金吾

○ま と め

【I ピザ作り】

生地から作るピザの調理法を教わった。生地をこねて発酵後2倍ほどに膨れた生地に触ってみたり、デザートの下ごしらえを分担して行った。班ごとに厚みや具の載せ方など様々な表情のピザが焼きあがった。アンケートでは「家でも作る」などの回答があり本場のイタリア人から教わるピザ作りを通して料理をすることの楽しさを知ってもらえたようだった。

【II 理科実験教室①・②】

自然科学の分野への興味・関心を広げてもらうため講座を企画した。低学年にはヨウ素でんぷん反応を利用した実験を行い、ヨウ素の作り方や身の回りのどんな食品にでんぷんが含まれているか試薬を使って実験をした。高学年には顕微鏡を使って柳瀬川から採取した水中の微生物を観察した。水質を反映すると言われる水生生物の多様性に関心を寄せていた。



焼きあがったピザ

柳瀬川から採取した
プラナリア



子どもヒップホップダンス講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 全身を使って自己表現することや仲間と気持ちをあわせて表現することの楽しさを学ぶ。
- 期 間 平成30年6月9日～7月14日までの毎週土曜日6回、
7月19日（木）1回（計7回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（土曜日12時間）
午後6時～8時（木曜日2時間）（計14時間）
- 対象・定員 市内在住又は在学の小・中学生・40人
- 参加者 38人 参加延べ人数242人
- 講師 スタジオパラダイス講師 木野村 温子

回	月 日	内 容
1	6月 9日（土）	約束ごとについて・柔軟体操・ダンスの基本ステップ
2	6月16日（土）	拍子の取り方・パート練習（高学年・低学年）
3	6月23日（土）	パート練習（高学年・低学年）
4	6月30日（土）	パート練習（高学年・低学年）
5	7月 7日（土）	通し稽古（フォーメーションごとの位置決め）
6	7月14日（土）	通し稽古（全員でフォーメーションを組んで踊る）
7	7月19日（木）	通し稽古（大江戸まつり参加者はリハーサル兼）

○事業内容

○まとめ

市内11校から集まった38人の小学生がヒップホップダンスの練習を通して、音楽に合わせて体を動かす楽しさ、挨拶や声かけ、年長者が年下の面倒をみるなどの集団で行動するために必要な規範を学んだ。

1曲分の振り付けを覚え、有志で大江戸新座まつりへ参加し発表することがこの講座の特徴になっており、低学年と高学年に分かれてフォーメーションを変化させながら発表に向けて練習に取り組んでいた。練習では、ヒップホップが初めての子どもにも分かるように踊りの基本となるリズムの取り方やボックス、フォーステップなどを丁寧に教わっていた。受講者は笑顔で踊ること、指先まで気を配ることなどのアドバイスを受けながらダンスを楽しんでいた。

継続希望の多い講座のひとつで、魅力ある講座作りの一環として取り組んでいきたい。



書き初め練習会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 広々とした場所で集中して書き初めの練習ができる機会を提供するとともに美しい字を書こうとする意識を持たせる。
- 期 間 平成30年12月25（火）・26日（水）（2部制・計4回）
- 時 間 午前10時～正午、午後1時～3時（2日間・計8時間）
- 対象・定員 市内在住の小・中学生・各15人
- 参加者 64人
- 講師 書道家・元小学校教諭 桜井イサ子
- 事業内容 太筆や細筆の正しい筆運びなどを学び、それぞれの学年の冬休みの書き初めの課題作品を仕上げる。

○ま と め

毎年好評を得ている講座のひとつで、今年度は小学3・4年生を午前の部、小学5年生以上を午後の部とし、2日間、4回にわたり講座を企画した。クラス分けをしたので、講師からも指導しやすかったと感想をいただいた。

受講生ごとにポイントをおさえた指導は大変わかりやすく、文字のバランスや名前の大きさ、筆の運び方、特に「とめ」や「はね」に気をつけて書くことに注意を払うよう、講師が実際に手本を示すことで毛筆の特徴をつかむ参考になったようだった。

また細筆で名前を書く際の見栄えのするポイントや文字数が手本と異なる場合の考え方なども丁寧に教えていた。年少のクラスでは集中力が続かない受講生もいたが、無理強いせず声をかけながら指導していた。

受講生全員が基本に立ち返って、墨の選び方や吸い取り紙の使い方、筆の運び方、書き上げた作品の保存方法等を学んだ。全員が時間内に作品を仕上げることができた。



書初めの練習をする様子



親子茶道講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 親子で茶道を体験することで日本文化を知る。
- 期 間 平成31年1月5日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 小学生とその保護者・20人（10組）
- 参加者 18人（8組）
- 参加費 親子で600円（子ども1人追加につき300円）
- 講師 裏千家師範 大西 幸江
- 事業内容 茶道の歴史、お茶の種類、抹茶の飲み方・点て方を学ぶ。
- ま と め

10組の親子の申込みがあったが、都合により2組のキャンセルがあり、8組18人の参加となった。

講座の始めに茶道の歴史や道具類、当日設えた和室の掛軸や香炉などの説明の後、襖の開け方、和菓子や抹茶のいただき方、道具類の拝見の仕方など、ひとつおりの作法を学び、抹茶をいただいた。初めて口にする抹茶に「思ったほど苦くない」「泡が美味しい」「甘く感じる」など様々な感想が述べられていた。

また、抹茶の原料となるお茶の苗木を見せていただき、お茶になるまでの工程を教わった。

後半には子どもたち全員がお茶を点てて保護者にふるまい、親子で日本文化に触れる楽しい学びの機会となった。

終了後、水屋見学を希望する方や講師に質問するなど熱心な参加者もあり、茶道の魅力を身近に感じてもらえたようだった。



お茶の苗木

子どもプログラミング講座

～スクラッチでゲームを作ってみよう～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 2020年度からプログラミング教育の必修化が注目される中、ゲーム作りを通してプログラミングの概念を学ぶ。
- 期 間 平成30年7月28日(土)
- 時 間 午前10時～正午、午後1時～午後3時(2部制、計4時間)
- 対象・定員 小学3～6年生 5人(入替なし)
- 参加者 5人 参加延べ人数10人
- 参加費 教材費100円
- 講師 黒江 直行
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	7月28日(土) 午前・午後の2部制	①スクラッチで作ったゲームを使って遊んでみよう スクラッチでスプライト(キャラクター)を動かそう
		②ゲームの作成(2種類)

○ま と め

午前中はプログラミングソフト「スクラッチ」で制作されたゲームを使って動作のイメージをつかんだ。また、ジャンプするなど高さや速度の伴う動きをさせるにはどうしたらよいかなどの基本操作を学習した。午後の講義では2つのゲーム作りに取り組んだ。

【動くブロックにスプライト(キャラクター)をヒットさせて、ブロックから別のスプライト(キャラクター)を呼び出そう】

3体のスプライト(キャラクター)を同時に動かすとともに、「もし～なら」などのブロックを使用することにより複雑な動作ができることを学んだ。

【シュートゲーム ゲームの難易度】

ボールを蹴る動作とそれを阻止するキーパー、蹴られたボールの速度や角度、スプライトの大きさなど様々な条件を変えることでゲームの難易度が変わることを学んだ。

プログラミングを通して思考する楽しさ、もの作りの楽しさを感じてもらえたようだった。



子どもトリックアート講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 人間の錯覚を利用したアート作品に触れ、創意工夫する楽しさを感じてもらう。
- 期 間 平成30年7月28日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 小学3～6年生 10人
- 参加者 7人
- 参加費 教材費100円
- 講師 水島 節子
- 事業内容 展開可能な六面体に彩色したイラストを貼り、展開するたびに絵柄が入れ替わるからくりボックスを作成する。

○ま と め

紙に描かれているイラストや図形が見る角度を変えたり、カメラレンズを通して見ることによって立体的に浮き上がって見えるなど、人間の錯覚を利用したトリックアート作品に触れ、創作することの楽しさを知ってもらうことを主眼とした。

講義では、傾斜を逆走するように見えるビー玉や、長さが異なるように見えるリボン、紙から浮き上がって見えるイラストの展示をしてトリックアートを身近に楽しんでもらった。参加者は携帯電話のカメラ機能を使って浮き上がる作品などに歓声を上げていた。

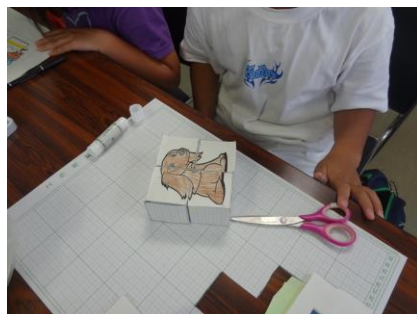
後半では、からくりボックス作りに取り組んだ。4個の立方体を組み合わせ、展開する六面体を作成しイラストを貼り付けたものであるが、立方体を組み立てる順序や貼り合わせる絵柄の位置などにポイントがあり、子ども同士相談したり講師に質問したりして組み立てていた。

絵柄は自分で描けるよう白紙のものとイラストに彩色するだけのものと両方用意した。

アンケートでは「不思議なことがたくさんあった」、「工作をもっと作りたい」などの意見が寄せられた。



作り方を説明する様子



完成したからくりボックス

大和田小さな家おはなし会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ボランティア団体の協力により子どもたちに読書に親しむ機会を提供する。
- 期 間 平成30年4月6日～平成31年3月15日までの第1及び第3金曜日。
ただし、5月は第3金曜日・8月は第1のみ（計22回）
- 時 間 午後3時30分～4時（計11時間）
- 対象・定員 市内在住の乳幼児又は小学生と保護者・20人
- 参加者 参加延べ人数107人
- 講師 ボランティアサークル「大和田小さな家」
- 事業内容

月 日	内 容	
第1・第3金曜日	お話し会	・手遊び ・絵本の読み聞かせ ・紙芝居
7月 6日（金）	七夕会	・手遊び ・絵本（おーいふじさん・トマトさん） ・お話し（狙われてる） ・紙芝居（なぜ七夕にささかざりをするの？）
12月21日（金）	クリスマス会	・手遊び・絵本 （おかあさんどーこ・いそがしいよる） ・軍手人形 ・大型絵本（まどからおくりもの） ・クリスマスの歌

○ま と め

当館利用のサークル「大和田小さな家」の協力を得て、様々な絵本や紙芝居などを通して絵本の楽しさ、日本や世界のお話を子供達に紹介している。

会場は児童室を使用し、参加者は好きな場所に座ってくつろげるようになっており、親子間又は地域の方々とのコミュニケーションを図る場となっている。

年に数回催される季節のお楽しみ会では、乳幼児から小学生までの異年齢の子供達が参加して行事にちなんだ歌を歌ったり、心温まるお話を聞いたりして楽しんでいた。今後も情操を育む場として継続していきたい。



環境講座 I

育てる！味わう！ハーブとグリーンカーテンの楽しみ

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 ゴーヤで緑のカーテンを作る方法を学び、CO₂削減に取り組む。また、ハーブ栽培について学び園芸の楽しさを知る。
- 期 間 平成30年6月13日（水）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 21人
- 講師 環境まちづくり地域協議会 in にいざ会長 櫻 博子
園芸家 外山 たら、ハーブ研究家 外山 ミチコ
- 事業内容 手軽に家庭でも取り組める緑のカーテンを紹介する。また、ハーブ栽培の魅力に触れ、園芸を生活に取り入れる。
- まとめ

CO₂削減を目的とした「緑のカーテン講座」は5年目を迎え、館講座として定着してきている。今年度は環境まちづくり地域協議会 in にいざ会長から御紹介をいただき、ハーブ栽培とその活用についても併せて実施した。

緑のカーテン作りでは、ベランダや庭先で栽培が可能なゴーヤの育て方のポイントを分かりやすく説明していただき、収穫後の料理方法なども教えていただいた。また、8月に予定している「美味しく食べよう！ゴーヤ料理講座」へのPRともなった。

ハーブは3大作用（抗菌化作用、免疫力アップ、リラックス作用）などの利点に優れ、かつ、丈夫で栽培が比較的容易であり家庭でもすぐに始められることが大きな魅力である。講座では代表的なハーブやその利用方法を分かりやすく説明していただき、数種のハーブをブレンドした2種類のフレッシュハーブティーを飲み比べた。また、色鮮やかなカクテルティーの作り方は、参加者からもおもてなしに使えると好評であった。アンケート結果も好評で、ハーブの魅力を伝えることができた。



環境講座Ⅱ 防災について

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 身近に起こる災害の事例やいざというときの防災の最新知識を環境のプロに学ぶ。
- 期 間 平成30年6月14日(木)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 14人
- 講師 新座市危機管理課職員
- 事業内容 災害時水洗トイレが使えない・・・こんな時のトイレ対策として身近な材料で女性でも組み立てができる簡易トイレ作りを学ぶ。

○ま と め

今年度は災害時に断水したことを想定して水洗トイレが使えない時に身近な材料である「ダンボール」と「ガムテープ」を使った簡易トイレ作りに取り組んだ。

講座では複数の職員が指導に当たり、丁寧で分かりやすい説明を受けながら全員が時間内に簡易トイレを完成することができた。同じサイズのダンボールを組み合わせ強度を増すことにより、高齢の方や女性でも簡単に作れることを学んだ。

講義後半では被災時の心構えについての説明があり、参加者からは外出先で被災した場合や防災無線が聞こえないときはどうしたらよいか等の質問が寄せられ、日頃の防災意識の高さが伺われた。

アンケートでは、避難所での生活や非常持出し袋の点検方法などにも高い関心が寄せられた。今後も暮らしに役立つ講座を提供したい。



簡易トイレ作りの様子



防災について講義の様子

環境講座Ⅲ 美味しく食べよう！ゴーヤ料理

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 緑のカーテン（ゴーヤ）が収穫時期を迎えることから、ゴーヤ料理を学び、旬の食材として活用する。
- 期 間 平成30年8月18日（土）
- 時 間 午前10時～午後1時（計3時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 18人
- 参加費 実習材料費500円
- 講師 環境まちづくり地域協議会 in いざ会長 櫻 博子
- 事業内容 手軽に家庭でも取り組めるエコ活動のひとつである緑のカーテンで育ったゴーヤを調理して夏の味覚を味わう。
- ま と め

環境講座の1回目（6月実施）でゴーヤの苗をお渡しして各家庭で楽しむ緑のカーテン作り紹介をしたが、この講座では収穫したゴーヤを美味しく食べていただくための料理講座を企画した。

にがみの原因となるわたを丁寧にとりのぞき、ナスやピーマンなどの夏野菜を合わせて蜂蜜を加えたドライカレーのほか、鰹節や塩昆布を使ったゴーヤの佃煮は夏の風味豊かな一品となった。サラダは子どもからお年寄りまでどなたでも食べられるようマヨネーズを用い、ツナやコーンを和えてマイルドな味付けに仕上げた。

男性の受講者も複数おり、調理に積極的に加わっていた。アンケート結果も好評であり、野菜を活用した健康料理への関心が高かった。講座を通じて身近なエコ活動に参加していただく機会を提供できた。

- ・ ゴーヤのドライカレー
- ・ ゴーヤの佃煮
- ・ ゴーヤサラダ



ワンダフルライフセミナー

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 より充実した人生を過ごすため、新たな趣味や体を動かすこと
を通じて、豊かで健やかな生活を送る。

○期 間 平成30年5月9日～5月30日までの毎週水曜日
(計4回)

○時 間 午前10時～正午(計8時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人

○参加者 22人 参加延べ人数49人

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	5月9日(水)	ノルディックウォーキング	ノルディックウォーキング協会 荒川 純
2	5月16日(水)		
3	5月23日(水)	熱中症対策	市保健センター職員
4	5月30日(水)	楽しく歌おう!	大嶋 豊子 高岡 秀子

○ま と め

今年度で3回目となるノルディックウォーキングは自前でスティックを購入し持参した方もおり、根強い人気がある。今年度は基本編と実践編の2回に分けて実施していただいた。アンケートでも継続希望が多い結果となった。熱中症対策では健康的な生活を送るためのポイントを多角的な視野から説明していただいた。参加者の体験談の発表もあり、参考になった様子だった。

合唱の回では、発声練習の後「見上げてごらん夜の星を」をソプラノとアルトのパートに分かれて合唱し、往年の名曲のハーモニーを楽しんだ。後半では脳トレを兼ねて童謡を歌いながらゲームや手遊びをし、参加者は笑いながら歌うことを楽しんでいった。毎年この講座に参加される方もおり、講義終了後「また来年」と声をかけ合っていた。趣味の講座を通して地域の方が交流する機会作りとなった。



ノルディックウォーキングの様子

オリンピック・パラリンピックホストタウン ブラジルを知ろう講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 2020年に開催されるオリンピックに向けホストタウン住民としてブラジルについて学ぶ機会を設ける。
- 期 間 平成30年9月15(土)・22日(土) (計2回)
- 時 間 午前10時～正午、22日は午後2時まで(計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 23人 参加延べ人数29人
- 参加費 実習材料費800円
- 事業内容

回	月日	内 容	講 師
1	9月15日(土)	～サンバ・サッカーだけじゃない！ 多様性の国ブラジルの魅力～ ブラジルの風土・社会・生活	ブラジル日本交流協会 OG 田辺 梓
2	9月22日(土)	ブラジルの家庭料理	オオタニ エリザベチ

○ま と め

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックで本市はブラジルのホストタウンとして登録をしているためブラジルがどんな国なのかを知り来訪者を温かく迎えることができるように講座を開設した。現地に住んでいた方や学生の方など幅広い年代にわたる受講者が集まった。

初回は、日頃外国人留学生への日本語教育やブラジル留学準備のサポートに携わり、ブラジルの「今」を知る講師から旅先での逸話などを交え楽しくお話していただいた。

2回目は食文化をテーマにブラジルの家庭料理作りをした。スパイスやレモンに乳製品を和え、日本人にも食べやすいテイストに仕上がり、大人・子どもを問わず好評であった。

- ・ ブラジル風シチュー
- ・ ミックスサラダ
- ・ ポンデケーキョ



日本文学講座（前期）

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 万葉集の名歌を通して、先人の思想や自然観、歴史的背景などを学ぶ。
- 期 間 平成30年5月26日～6月30日までの毎週土曜日（計5回）
※6月9日を除く
- 時 間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 47人 参加延べ人数192人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	5月26日（土）	・巻一・儀礼歌について
2	6月 2日（土）	・荒野への遊獵 ・武蔵野の地質
3	6月16日（土）	・来訪神の風習 ・歌垣
4	6月23日（土）	・国見歌 ・離宮歌から自然賛美へ
5	6月30日（土）	・大伴家持と春愁三首

○ま と め

前期講座では宮中行事の際に詠まれた公的な和歌である「儀礼歌」を収集した巻1にスポットをあててお話を伺った。

大自然を神と見立てて狩を通して交流する「遊獵」の風習は、獵果の成否で神意を占うものであった。狩の成功を喜び神々の祝福に感謝し、繁栄を願う酒宴の席などで歌われた「儀礼歌」や「歌垣」の風習に込められた思想をひも解き、万葉中屈指の名歌とも言われる3番歌・4番歌を始め、20番歌・21番歌などを読み進めた。

後半では、宮廷歌人・柿本人麻呂による国見歌（言葉として発することにより成就を願う・言霊信仰）と呼ばれる儀礼歌についても触れた。

また、時代の変遷によって万葉集に收拾される和歌も宮廷を賛歌する「離宮歌」から山部赤人らに代表される「自然賛歌」へと変わっていく万葉集の体系についても学習し、後期講座への足がかりとした。



日本文学講座（後期）

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 万葉集の名歌を通して、先人の思想や自然観、歴史的背景などを学ぶ。
- 期 間 平成30年10月20日～11月17日までの毎週土曜日（計4回）
※11月3日を除く
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 44人 参加延べ人数153人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	10月20日（土）	・万葉集の成り立ちと解説の歴史
2	10月27日（土）	・日本人の生死観と挽歌の変遷
3	11月10日（土）	・国思歌（くにしのびのうた）、大御葬（おおみはふり）の歌
4	11月17日（土）	・殯（もがり）の風習と挽歌

○ま と め

日本文学講座【後期】では、アンケート結果を参考に要望の最も多かった万葉集を引き続き講義していただいた。初回は万葉集の成り立ちやその解説の歴史について学んだ。一字一音の「万葉仮名」を用いて表現される万葉集は、成立から100年を超えた頃から解説ができなくなった。江戸時代中期の本居宣長を初めとする国文学者の努力により現代人の我々にも親しめる和歌集となったが、今尚、学問的には「未解説歌」として解釈が定まらないものもあり、有名な柿本人麻呂による第48番歌「東野炎～」もそのひとつであるという。

また、今期は挽歌の歴史についてひも解いた。棺を挽きながら哀悼を捧げた挽歌は、古事記や日本書紀においては葬歌（代作挽歌）、万葉集においては悲しみを自作する挽歌となり、平安時代には現代にも通じる哀傷歌へと変遷を遂げた。

講義では、日本書紀から国思歌、大御葬の歌と万葉集から巻二・167番歌などを題材に殯をはじめとする古代からの風習や日本人の生死観について学んだ。



講師の自宅から持参した「野老葛（トコロズラ）」。
歌の題材となった植物のひとつ。

歴史講座

～ 定子と彰子・二人の皇后の物語～

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 自国の文化や歴史に焦点を当て、先人の足跡を辿る。
- 期 間 平成30年10月13日(土)
- 時 間 午前10時～正午(計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人
- 参加者 36人
- 講師 国文学研究者 棚木 恵子
- 事業内容 文学史に名高い清少納言・紫式部が仕えた皇后、定子・彰子にスポットをあて当時の皇后の役割について学ぶ。

○ま と め

皇位継承儀式を来年の4月に控え、その関心が高まるなか、歴史講座では天皇を支える皇后の役割について学んだ。

導入部分では、現代の皇室を題材に美智子皇后の公務への取組を新聞記事や書籍を用いて紹介された。

講義は文学史に名高い清少納言と紫式部が各々仕えた一条天皇の皇后である定子と彰子の生活ぶりを当時の資料をふりかえりながら進められた。

皇后は後宮がどうあるべきかを考え、その運営に当たる必要があり、常にその知性と教養が試されていた。

アンケートでは、平安時代・王朝文学への関心の高さが伺われ、講義の継続や時間の拡大を希望する意見をいただいた。



講義の様子

おもてなし英会話講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 2020年の東京オリンピックの開催に向けて、日本を訪れる外国人の方に対し簡単な道案内ができるように必要な単語やフレーズを学ぶとともに、英会話を練習する。
- 期 間 平成30年11月7日～21日までの毎週水曜日（計3回）
- 時 間 午後6時30分～8時30分（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 16人 参加延べ人数43人
- 講師 英会話講師 イアン エリス
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月7日（水）	自己紹介をしてみよう 友達に週末にあったことを話してみよう
2	11月14日（水）	会話を続けてみよう（会話を続けるためのフレーズ） 趣味（好きなこと）は何ですか？ おすすめの場所はどこですか？
3	11月21日（水）	道案内をしてみよう 疑問になっている言い回しやふさわしい場面について

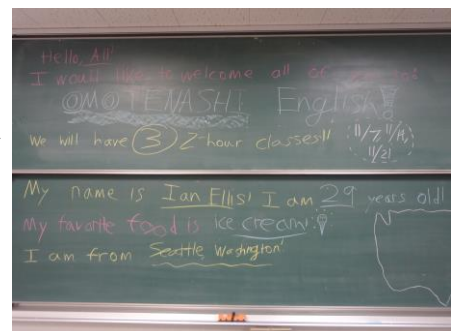
○ま と め

中学生程度の英語を使って簡単な日常会話を習得することを目的とし、旅先でも活用できるフレーズや道案内などについて学習した。

講義では、短い会話のフレーズを応用して自己紹介や趣味の紹介をはじめ、お気に入りの観光地やその理由等のように毎回テーマを決め、2人一組になって会話の練習をし、グループ毎に発表をする形式で進められた。

英語表現についての質問（seeとwatch、enjoyとfunとの違いなど）や会話中の文法の誤りについて、その都度文例を交えた分かりやすい解説が入り好評だった。受講生は積極的に質問し、課題に取り組んでいた。

アンケートでは語学習得への関心の高さが伺われ、継続希望を多くいただいた。夜間講座として開設したが、仕事帰りや学校帰りの方から歓迎され、英会話サークルへの問い合わせも多数いただいた。



そば打ち体験講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 日本古来の伝統食であるそばについて、栄養価や国産そば粉の現状を学ぶとともにそば打ちを実践する。

○期間 平成30年12月12日(水)

○時間 午前10時～午後2時(計4時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 20人

○参加費 実習材料費700円

○事業内容

回	月日	内容	講師
1	12月12日(水)	そばの栄養について そば打ち実習、試食 そばがき調理実演、試食	さいたま蕎麦打ち倶楽部 講師 田中浩三 ほか

○まとめ

今年で11回目を迎えるそば打ち体験講座は大変人気が高く、受付開始後20分程で定員に達した。リピーターの方も多く当館の年末の風物詩となっている。講師は「さいたま蕎麦打ち倶楽部」の方13人で、受講生は4人1組となり5班に分かれて実習した。

講師が持参したそば打ち専用の道具を使って参加者全員がそば粉に水を入れてこねる「水回し」「捏ね(こね)」、延ばす「延し」、刻む「切り」の作業をすべて体験した。各工程で個人指導に近い形で指導を受け、班によって時間差ができないように進行状況を確認しながら完成させることができた。

そばがきの調理実演もあり、なめらかな食感に舌鼓を打った。その後、自分で打ったそばと講師のそばとを食べ比べ、麺の太さや舌触りの違い等について感想を述べあっていた。

アンケートでは、蕎麦の歴史や栄養価について詳しく知ることができた、食文化に触れ心も豊かになったなどの感想が寄せられた。



家庭で作れるパンとスイーツ講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 当館を利用しているサークルの方を講師として招き日頃の活動を知ってもらおうと共に、料理を通して家族の健康を考え、手軽に作れるパン・スイーツを家庭で楽しんでもらう。
- 期 間 平成30年9月26日(水)、10月3日(水)(計2回)
- 時 間 午前10時～午後1時(計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 17人 参加延べ人数31人
- 保育 7人 保育延べ人数12人
- 参加費 実習材料費1,000円(2回分)
- 講師 スイーツやよい 代表：福本ミエ子
- 事業内容 家庭で作ることができるパンやスイーツの基本を学ぶ。

回	月 日	内容
1	9月26日(水)	菓子パン三兄弟(3種の菓子パン)
2	10月3日(水)	なかよしスイーツ姉妹(2種のカップケーキ)

○ま と め

公民館活動を身近に感じてもらうため、公民館創立時から続く料理サークル「スイーツやよい」を講師に招き料理講座を開設した。このサークルが作るパンは公民館まつりの販売部門で毎年好評を得ている。

初回は菓子パン作りに挑戦した。パン作りは発酵時間が必要であり、敷居が高いイメージがあるが、各テーブルに講師が付き添い丁寧に調理のコツを説明していた。発酵時間にはパンの中に入れる具の準備をしておくなど手際よく進行し、2時間かからずに短時間で1人当たり8個のパンを作った。

2回目のカップケーキ作りでは、先週顔見知りとなった参加者同士協力して和やかな雰囲気を取り組んでいた。

アンケートでは子ども達から「お母さんパン屋さんみたい」と好評だったとか、公民館のサークル活動に興味を持てたなどの意見をいただいた。



仕事に役立つパソコン《ワード中級》講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 求職中の方やこれから仕事でワードを使う機会がある方等を対象にして、案内状等の文書作成に必要な技術の習得を目指す。
- 期 間 平成30年5月12日～6月2日までの毎週土曜日（計4回）
- 時 間 午前10時～正午（計8時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人 参加延べ人数37人
- 参加費 教材費100円
- 講師 黒江 直行
- 事業内容 入力の基本操作から地図の作成と加工までを全4回で学習した。



回	月 日	内 容
1	5月12日（土）	基本操作・入力の仕方
2	5月19日（土）	便利な機能・文書の作成
3	5月26日（土）	書式設定・ワードアートや図画の挿入
4	6月 2日（土）	表の作成と編集・地図の作成

○ま と め

昨年度のアンケートでも要望が多かったワード講座を実施した。前年度のエクセル講座に引き続き求職中の方や仕事でワードを使っている方をターゲットに募集したところ、定員数を上回る応募をいただいた。

今回の講義は中級者を対象としており、基礎的な入力方法などを確認した後、ワードの機能を利用して1通の案内状を完成させる内容で進められた。出題と参考資料とが収められたCD-Rを配布して自宅でも復習できるようにした。地図の作成についてはフリーソフトで作成する方法等も紹介された。

アンケートでは写真や表の加工方法等、参考書だけでは分かりづらい内容も丁寧に学習できた、さらに理解を深めたい等の意見をいただいた。

仕事に役立つパソコン《エクセル中級》講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 仕事でエクセルを使う機会がある方等を対象にして、基本操作から表の作成、関数等を使いこなす。
- 期 間 平成31年1月12日～2月9日までの毎週土曜日（計5回）
- 時 間 午前10時～正午（計10時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・10人
- 参加者 10人 参加延べ人数45人
- 参加費 教材費100円
- 講師 黒江 直行
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	1月12日（土）	基本操作・書式設定
2	1月19日（土）	オートフィル機能・関数の利用
3	1月26日（土）	便利な機能
4	2月 2日（土）	データベースの活用
5	2月 9日（土）	ワークシートの活用・印刷設定

○ま と め

エクセルを普段活用している中級者を対象としてパソコンスキルのブラッシュアップを目的として、現役世代でも参加しやすいように毎週土曜日の午前中に講座を開設した。応募者は現役世代からシニア層まで幅広い年齢層の方が集まった。講義はテキストとして配布されたCD-Rに入っている課題を解いてゆく形式で進められ、テレビモニターを使って受講者の進捗状況を確認しながら丁寧に進められた。講師の好意で、毎回開講30分前に自習時間を設けるとほぼ全員が参集し、講師に質問するなど熱心に取り組んでいた。

アンケートでは固定休でない職種の方から平日夜間の実施要望もあり、ニーズを図りつつ今後の計画の参考にしたい。

ゆかた着付け講座

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 ゆかたの着付けを通して日本の伝統文化である「きもの」に興味を持ってもらうことを目的とした。講座では、着付けの基本と半幅帯のアレンジを学ぶ。

○期 間 平成30年7月11日（水）・12日（木）（計2回）

○時 間 午前10時～正午（計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の女性・10人

○参加者 10人 参加延べ人数16人

○講師 着物インストラクター 津田 晶子 外2人

○事業内容

回	月 日	内 容
1	7月11日（水）	・きもの基本的な決まりごと ・肌着、ゆかた着付け、帯結びの段取り ・美しく着るためのコツ（タオルを使用した体形補正） ・文庫結び・きものたたみ方
2	7月12日（木）	・1日目のおさらい ・半幅帯の変わり結び

○ま と め

2日間にわたり、ゆかたの着付けと帯結びを学習した。

1日目は着付けが初めての受講生を中心に講義が行われた。和装がより美しく見えるためにタオルを使った体型補正の仕方を教わった後、帯結びの基本となる文庫結び、ゆかたのたたみ方までを実習した。着丈や衣紋（えもん）の調整など受講生同士で確認する姿もみられた。着付けのポイントを踏まえた丁寧な講義でアンケートにも好印象の結果であった。

2日目は早目に来館して講師に質問しながら前日のおさらいをする方もおり、変わり結びにも熱心に取り組んでいた。着崩れがしないコツを交えながら「矢の字」と「角出し」の2種類の変わり帯を教わり、ゆかたを初めて着た方もマスターすることができた。ゆかた姿の写真を記念撮影するなど親睦を深める機会にもなった。



様々な変わり帯のバリエーション

ママのためのヒップホップダンス講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 子育て中の母親を対象に、子育てによるストレス解消と仲間作りの場とするためにヒップホップダンスを学ぶ。
- 期 間 平成30年11月8日～12月6日までの毎週木曜日
(計5回)
- 時 間 午前10時～正午 (計10時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 21人 参加延べ人数76人
- 保 育 10人 保育延べ人数32人
- 講 師 スタジオパラダイス講師 木野村温子・平井孝明
- 事業内容

回	月 日	内 容
1	11月 8日(木)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
2	11月15日(木)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
3	11月22日(木)	柔軟体操・基礎ステップの練習・振り付け
4	11月29日(木)	構成、フォーメーションごとの位置決め
5	12月 6日(木)	通し稽古(クリスマス会参加者はリハーサル兼)

○ま と め

今年はDJ Khaledの『No Brainer』の軽快な曲に乗せて21人の参加者がヒップホップダンスに挑戦した。リピーターの受講生もあり、人気講座の1つとなっている。

ステップと上半身の振り付けを分解した丁寧な解説があり、初心者でも安心して取り組める内容となった。初めはゆっくりとしたテンポで練習を行い、徐々にテンポを上げていき、緩急の利いたダンスに仕上がった。

最終回では2グループに分かれて発表も行った。また、希望者は有志で大和田ハッピーXmasに参加する機会があり、リハーサルにも熱が入っていた。

当日出演できなかった受講生も観客として声援を送り、本番は盛況であった。

練習に取り組む様子



フラダンス体験講座

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 フラダンスを通して体を動かすことの楽しさや、仲間と気持ちを合わせて表現することの楽しさを学ぶ。
- 期 間 平成30年9月5日～19日までの毎週水曜日（計3回）
- 時 間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 16人 参加延べ人数35人
- 講師 フラダンス講師 糸井 とみ子
- 事業内容 基本的なステップを取り入れて1曲の演目を踊れるようにする。

○ま と め

平成29年度を最後に当館ではフラダンスサークルがなくなってしまったため、体験講座を企画して参加者を募った。優雅な癒し系の音楽とゆったりとした動きを交え初心者でも取り組める内容となっている。

曜日や時間の都合がつかず講座からサークルの成立には至らなかったが、30代から高齢の方まで幅広い年齢層の方に参加していただき、年齢を問わず関心を寄せる方が多いことが分かった。

参加者は基本のステップと花・波・山・伝説などを表わすハンドモーションを組み合わせて踊るフラダンスの雰囲気を楽しんでいた。曲目はハワイアンソング『K a u l a n a K a w a i h a e（カウラナ カワイハエ）』を使用し、自然豊かな情景を連想させる歌詞にあわせて振り付けを3回で終わられた。フラ初心者が大半を占める構成だったが、最後にグループごとに分かれてお互いの踊りを発表することができた。来年度への継続要望もいただいた。保育の要望もあったので併せて検討したい。



振り写しの様子

かがやき塾

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 より充実した人生を過ごすために健康面、趣味などで生きがいを持つことについて学ぶとともに、仲間作りの場とする。
- 期間 平成30年10月10日～10月31日までの毎週水曜日
(計4回)
- 時間 午前10時～正午(24日は午前8時30分～午後4時30分)
(31日は午前11時～午後12時30分)(計13.5時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人(公開講座100人)
- 参加者 40人 参加延べ人数206人(うち公開講座のみ66人)
- 参加費 昼食代及び高速料金代2,500円
- 事業内容

回	月日	内容	講師
1	10月10日(水)	振り込め詐欺防止講座	新座市役所経済振興課職員及び 新座市消費生活センター相談員 近藤 則子
2	10月17日(水)	健康ヨガ	サークル講師 並木 紀久子
3	10月24日(水)	館外学習・江の島散策	(神奈川県藤沢市)
4	10月31日(水)	【公開講座】 笑って元気に大和田寄席	落語家 立川 らくぼ

○まとめ

毎年定員を超える応募がある人気講座で、今年も生活に身近な内容で企画した。1回目の振り込め詐欺防止講座では詐欺の手口や悪徳商法の撃退方法について最近の事例を交えた説明の後、「だまされやすさ心理チェック」を行い、なぜ高齢者が狙われやすいのかを知るとともに、クーリングオフ制度や困ったときの相談先についても案内があった。2回目の健康ヨガでは正しい呼吸方法を学びストレッチで体をほぐし、自宅でも実践できるヨガのポーズを教えていただいた。3回目の江の島散策では東京2020オリンピックのセーリング競技会場をはじめ、由緒ある江島神社やシーキャンドル展望台などを見学した。4回目の落語では、寄席は初めてという方もおり、三席の落語を楽しんだ。

1か月にわたる連続講座なので、今後も内容を吟味し参加者を飽きさせない講座作りに務めたい。



わくわくキッズファミリー講座

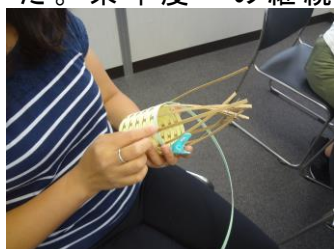
〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 趣味や子育てについての学習を通して、親同士で悩みごとを話し合い、親睦を深める。
- 期 間 平成30年6月5日～6月26日までの毎週火曜日
(計4回)
- 時 間 午前10時～正午(19日のみ午後1時まで、計9時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方の2歳から就学前までの親子・20組
- 参加者 22人(14組) 参加延べ人数54人
- 保 育 14人 保育延べ人数38人
- 材 料 費 実習材料費(手芸・調理)1,100円
- 事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	6月 5日(火)	骨盤体操	新座市体育協会登録 インストラクター
2	6月12日(火)	クラフトテープでかご作り	関 幸子
3	6月19日(火)	トマトソースで本格イタリアン	篠田 イラリア
4	6月26日(火)	教育相談・子どもの健やかな成長を みつめて	越迫 敏枝

○ま と め

育児等で日頃かかえている悩みごとなどについて意見交換する場を提供するための講座で、内容を見直しながら10年以上継続している事業の1つである。今年度は女性の関心が高い骨盤体操を取り入れた。家事や育児では使われない部位も無理なくストレッチでき、非常に好評をいただいた。2回目は市販のクラフトテープを編んでかご作りをした。好みの色のテープを使用して各々カラフルなかごを完成させていた。3回目は栄養価の高いトマトを使ってパスタソース2種類を作り親子で試食を楽しんだ。4回目は「子どもの健やかな成長をみつめて」というテーマで講義していただき、終了後には個別の質問にも応じていた。来年度への継続希望も寄せられた。



人権研修

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 公民館利用者団体の代表者を対象に人権研修を行う。
一人ひとりが社会を担う一員であることを自覚し、互いに助け合い、支え合いについて考える。
- 期 間 平成30年6月9日(土)
- 時 間 午前11時～正午(計1時間)
- 対象・定員 公民館利用者団体の代表者の方・70人
- 参加者 42人
- 事業内容 人権学習DVD「マララー教育を求めて闘う少女」を視聴し、身近な人権について考える。

○ま と め

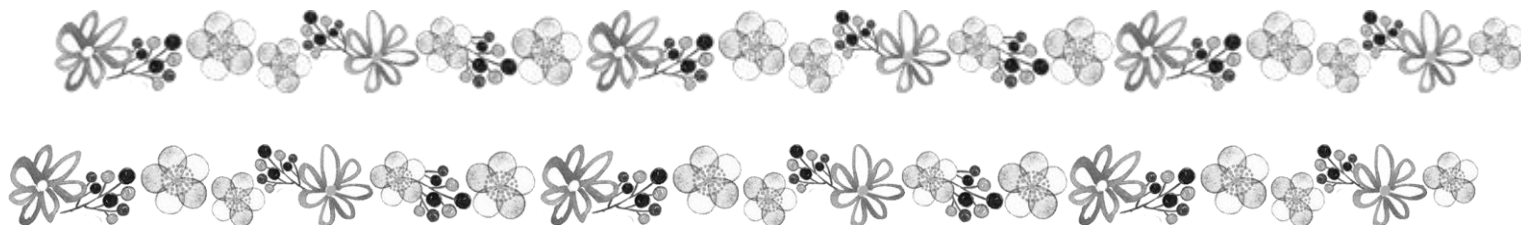
人権研修として多くの方が集まる公民館利用者懇談会後に人権啓発教材のDVDを視聴した。

今年度は2014年にノーベル平和賞を最年少受賞し、エデュケーション・ファーストを唱えた演説で世界中から共感と賞賛を浴びたマララ・ユスフザイさんを題材にしたDVDを視聴した。

DVDは女性の権利や女子教育の重要性を訴え続けたこれまでの歩みを本人や家族へのインタビューや現在の生活の様子等を交え構成されている。

本編ではパキスタンへの帰郷を切に望む彼女の心情を訴える映像で締めくくられているが、その後2018年3月に銃撃後初めての帰郷を果たし現在も精力的に活動を続けている。

視聴中は私語もなく、研修を終えられた。参加者は異国の少女が強い信念を持って活動に取り組む様子に感銘を受けていたようだった。



ふれあいタイム企画準備会

〈大和田公民館〉

- 開設の趣旨 平成31年度に開催するふれあいタイムの企画、打合せを行う。
- 期 間 平成30年9月14日（金）
- 時 間 午前10時30分～正午（計1.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方5人
- 参加者 6人
- 事業内容 今年度の反省と来年度の講座の日程調整・内容の検討を行う。
- まとめ

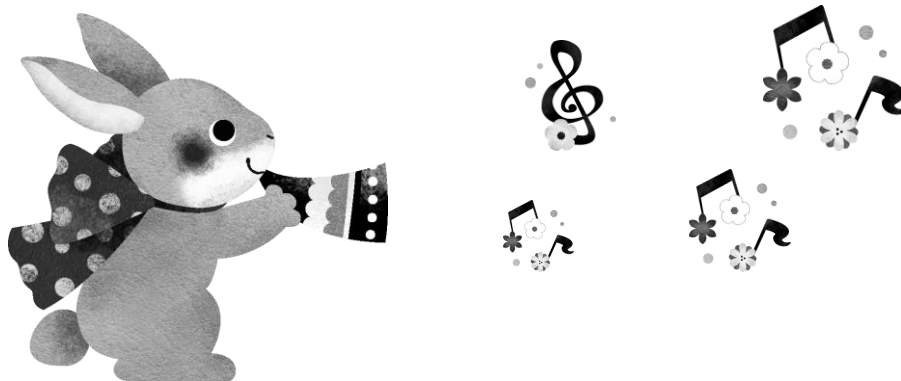
障がい者地域活動センター「ふらっと」や「くるみの木」が当館の近くにあり、障がいのある方もない方も共に交流を深めることを目的に「ふれあいタイム」講座を毎年開講しており、地域の方をはじめ多くの方に参加していただいている。

町内会を筆頭にボランティアの力添えが欠かせない講座であるため、準備会では行事予定との日程調整やバスハイクの行き先としてバリアフリーな機能やサービスが充実している施設選定が議題となった。

また、例年どおり周知用のチラシは障がい者地域活動センター「ふらっと」が担当し、バスハイクのしおりや移動中のレク等は大和田公民館が担当することを確認した。広報誌への掲載については、電動車いすのスペースが2台分との制限があるため記事の工夫が求められた。

今年度のアンケート結果や反省点を取り入れ、来年度も大和田1・2丁目町会の協力を得て「うどん作り」の継続と埼玉県のリフト付き大型バス「おおぞら号」を利用してバスハイク（都庁見学）することを決定した。

- ・平成31年4月6日（土）うどん作り
- ・平成31年4月26日（金）バスハイク（都庁見学）



ふれあいタイム企画準備会

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 障がいのある方もない方も、一人で外出が不安な方も地域の方と気軽に交流し、お互いに理解を深める。

○期 間 平成30年4月21日(土)・25日(水)(計2回)

○時 間 4月21日午前10時～午後1時、
4月25日午前9時30分～午後4時(計9.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・40人(バスハイクは10人)

○参加者 43人 参加延べ人数 58人

○参加費 調理材料費200円、昼食代・高速料金代1,200円

○事業内容

回	月 日	内 容	講 師
1	4月21日(土)	うどん作り	大和田一・二丁目町内会
2	4月25日(火)	羽田空港見学	—

○ま と め

昨年度の企画準備会で計画したとおり、今年度はうどんの調理実習と羽田空港見学を実施した。

うどん作りには地域の方も多数参加していただき、盛況であった。講師となってくださった大和田一・二丁目町会の方や北二福進協の方にお手伝いいただきながらうどん生地をこねたり、野菜切りに挑戦した。試食時には各テーブルで談笑する様子も見られ、和やかな雰囲気でお食事を楽しんだ。

羽田空港見学では、あいにくの雨であったが、お手伝いのスタッフの方や参加者の方々から御協力をいただき、バスの昇降もスムーズにできた。前年に引き続き埼玉県のリフト付き大型バス「おおぞら号」をお借りして出かけることができた。第2ターミナルビルを見学し、昼食の時間になる頃には雨も止み、飛行機の発着を屋上から眺めることができた。

帰りのバスではどの参加者も打ち解け、ふれあいタイムに初めて参加された方にも楽しんでいただけたようだった。来年度の要望なども話題となり、企画準備会への足がかりとなった。



大和田ハッピーXmas

<大和田公民館>

- 開設の趣旨 お楽しみ会を通じて、地域交流の場を設ける。
- 期 間 平成30年12月8日(土)
- 時 間 午後1時30分～2時40分(計1時間10分)
- 対象・定員 幼児及び小学生と保護者など・120人
- 参加者 200人
- 事業内容

演目	出演者
クリスマスミニコンサート	フルート奏者 小松 由歩
ヒップホップダンス	HIPHOPパラダイス ママのためのヒップホップダンス受講生(有志)
ピエロパフォーマンス	立教大学ボランティアパフォーマンスサークル どりいむぼっくす

○ま と め

今年で11回目を迎える催し物で、普段館を利用している方への還元という意味も含め地域と館との親睦を図ることを目的としている。春の公民館まつりと並び館の2大行事の一つである。今年度も多くの方に参加していただき盛況であった。

催し物としては、公民館まつりでも好評であったフルートによるクリスマスコンサートを初めとし、館講座講師によるヒップホップダンスと立教大学ボランティアパフォーマンスサークル・どりいむぼっくすによるピエロパフォーマンスという構成で子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のお客様に会場していただいた。

会場は終始和やかな雰囲気、出演者と来場者が共に楽しめたようだった。



フルートミニコンサート



ヒップホップダンス



ピエロパフォーマンス

桃の節句茶会

〈大和田公民館〉

○開設の趣旨 子供の健やかな成長を祝う節句にあわせて、日本文化のひとつである茶道に親しむ。

○期間 平成31年3月2日(土)

○時間 午前10時～正午(計2時間)

○対象・定員 制限無し・30人

○参加者 33人

○参加費 300円

○事業内容



回	月日	内容	講師
1	3月2日(土)	呈茶・茶道体験コーナー (抹茶の飲み方・たて方体験)	裏千家師範 大西 幸江

○まとめ

昨年度、親子茶道講座で要望のあった季節の茶会をロビーで実施した。

この時期ロビーを飾る雛人形を囲み、緋毛氈や野点傘等を用意して茶会の雰囲気盛り上げた。

会場は床几台を設置し、正座に不慣れな小さいお子さんや膝に痛みのある高齢者の方にも楽しんでいただけるよう立礼の茶会とした。

当日は近隣の小学生を始め、高齢の方、幼児の付き添いの若いお母さん方の参加もあって、幅広い年代層の参加をいただいた。初めて茶道に触れる方も多かったようだが、お菓子やお茶のいただき方等を教わり、茶会の雰囲気を楽しんでいた。

お茶を点てる体験コーナーも用意したところ、茶道具に触れ、自分でお茶を点てて味わうことが新鮮であったようで、成人の方にも好評だった。

今後も利用者の意見を取り入れ、ロビーの活用法や、季節にちなんだイベントなどを企画したい。



呈茶の様子